

架け橋期のカリキュラム（小学校）（案）

めざす子供像の実現に向けた共通して取り組みたい指導

春野東小学校区
めざす子供像 「主体的にチャレンジし、学びを将来につなぐことができる子ども」～学びの芽生え・学力向上に向けて

A) チャレンジ精神 **B) 自尊感情** **C) コミュニケーション力** **D) 郷土愛**

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年	低学年	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期の経験を生かしながら学習や生活に取り組んでいる。 学校での生活は、様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して過ごそうとしている。 友達や先生と一緒に挑戦しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 不思議に感じたことについて見通しをもって調べたり、自分の考えを友達に伝えたりしている。 地域の自然に触れることで四季の変化や季節の特徴を確かめながら、身近な自然を楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの話に関心を持ち、相手の思いや考えを受けて話したり、聞いたりしている。 学習や生活の中で、自己の課題を見付け、解決のために活動を工夫したり、他者に伝えたりしている。 身近な自然を観察したり、地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、そのすばらしさに気付く、親しみをもって関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長に気付いている。 支えてくれている人々に感謝の気持ちを持ち、自分の成長への期待をもって意欲的に生活しようとしている。 クラスや学校の一員としての存在や役割に喜びを感じている。 								
	中・高学年	<ul style="list-style-type: none"> がっこうせいかつすたあと がっこうたんけん (生活・国語・算数・図工・特別活動・道徳) きれいにさいてね (生活・国語・算数・図工) 	<ul style="list-style-type: none"> なつがやってきた (生活・国語・算数・図工・体育) いきものとなかよし (生活・国語・算数・道徳) たのしいあきいっぱい (生活・国語・算数・図画工作・音楽・道徳) 	<ul style="list-style-type: none"> ふゆをたのしもう (生活・国語・体育) もうすぐ2年生 (生活・国語・音楽) 									
指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラム さあはじめよう ひとつつながることば よろしくね (国語科) かきたいものなあに ちよきちよかざり (図工科) なかまつくりとかず (算数科) からだほくしのうんどうあそび (体育科) 	<ul style="list-style-type: none"> みんなにはなそう ぶんをつくらう (国語科) おんがくにあわせて うたにあわせて (音楽科) たのしいがっこう (道徳科) 	<ul style="list-style-type: none"> こんなことしたよ (みんなにはなそう) みんなにはなそう (国語科) あわせていくつふえるといくつ のりはいくつちがいはいくつ (算数科) いきものランド 水あそび (体育科) へったんころころ (図画工作科) 	<ul style="list-style-type: none"> はなしたいなききたいな (国語科) ほんはともだち はっけんしたよ (国語科) かざってなにいれよう はこでつくったよ (図画工作科) わかちやすくてせりしよう 10よりおおきいかず (算数科) どちらがおおい (算数科) いいおとみつけて (音楽科) どんなあいさつをしますか (道徳科) わたしがおねえさんよ (道徳科) 	<ul style="list-style-type: none"> おもい出しかっこう (国語科) かたちあそび (算数科) わたしがねえさんよ (道徳科) 								
指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 事例6 期待感をもつ 安心・安全に過ごす 先生や友達との関わり 学校生活に慣れる 自己発揮する 経験を生かす 見付ける・比べる・たどる 試す・見通す・工夫する 直接的に働きかける 探究する 	<ul style="list-style-type: none"> 事例7 見付ける・比べる・たどる 試す・見通す・工夫する 直接的に働きかける 探究する 	<ul style="list-style-type: none"> 事例8 見通しをもって活動する 気づき 相手意識をもつ ルールや方法を工夫する 言葉や文字等で伝える・友達の思いを受け止める 協力的に取り組む 自分の成長に気付く 期待感をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> 事例9 目標に向かって (できるようになりたい) 繰り返し挑戦する 動きの習得 やり遂げた達成感・意欲・自信をもつ 相手意識をもって伝える・表現する 自分の成長に気付く 期待感をもつ 									
指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 生活上必要な習慣や技能を習得する 思いや願いをもつ 経験を生かす 活動や体験をする 感じる・考える 行為する・表現する 振り返る 												
校	<ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」「しりたい」「できるようになりたい」と思えるような学習対象との出会わせ方、思いや願いを大切にできるような学習展開を工夫する。(通年) 園での経験を引き出す投げかけをし、子供と一緒に活動の流れを考える。(通年) やってみよう、聞いてみようなどを引き出し、興味・関心を高めて、学校たんけんを中心に学習活動を展開する。 学校生活の流れやきまり、学習の流れやルールを確認しつつ、園での経験が生かせるように一緒に考え、進める。 	<ul style="list-style-type: none"> つばきや活動の様子を丁寧に見取り、働きかけ、活動の充実につなげる。(通年) 学習活動や学習形態を工夫し、子供の伝え合う気持ちを引き出す。(通年) 身近な自然を観察することで、それらの違いや特徴を見付けたり、伝え合ったりできるようにする。 身近なことを伝え合い、言葉が豊かになるよう学習を進める。(国語科「みんなにはなそう」との関連) 	<ul style="list-style-type: none"> つばきや活動の様子から、次の活動へつなげたり、発想を広げたり、頑張りを紹介したりすることで、相手や仲間を意識して活動できるようにする。 チャレンジしようとする姿や頑張りを感じる声かけをすることで、自己肯定感を高める。 虫を探したり飼育したりして、親しみを持ち、生き物を大切にしようとする心を育てる。 秋の自然を利用して遊んだり、遊びに使う物を工夫して作ったりできるようにすることで、遊びを上げたり、異年齢児との関わりをもたせたりできるようにする。 生活科で経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり、確かめたりして、伝えたいことが明確になるようにする。(国語科「はっけんしたよ」「おもい出しかっこう」との関連) 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組んだことを多様な方法で表現できるようにする。 自分の成長は、周囲の人々に支えられていることや内面的な成長に気付く、2年生への願いや期待感などをもつことができるようにする。 一人一人の成長や取組の過程を認めながら、友達の成長への気づき、学級全体の成長を喜び合えるように、児童のつばきや発言を認めたり、広げたりする。 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいつころを見付ける。(国語科の「1年かんをふりかえろう」との関連) 									
指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 教職員に学習のねらいや活動内容を周知し、1年生が親しみ・興味・関心をもてるような関わりを依頼する。 園での生活や経験を聞き取り、始業前にも自由に使える道具やくつろげるスペース、各教科に関連する教材等を準備する。(通年) 自分でできた気持ちももてるように学校探検や当番活動などの場面で視覚支援を取り入れる。 年度末に自らの成長に気付くことができるように、学習の足跡をポートフォリオや写真等で残しておく。(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> 園の「水遊び」の環境を聞き取り、経験に合わせて材料、素材などの教材との出会わせ方を工夫する。 自ら思考したり試したりできるように、道具・材料の数や量、置き方を工夫する。 季節ごとの生き物や季節の遊び等、追求したい気持ちを引き出すように関連する図書等を教室に置き、季節の変化への気づきを促す。(通年) 自由に思いを伝え合う場や雰囲気をつくり、言葉などで伝える喜びを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら活動できるように、自由に使える材料や道具を種類ごとに分類し、使いやすい場所に準備したり、収集した物を分類して保管できるスペースを準備したりし、様々な素材の特徴に気付くようにする。 友達と共通の目標に向かって学習を進めることができるように、単元のゴールまでの授業の流れを話し合い、それらを可視化することで、自ら確認しながら学習や活動に向かえるようにしておく。 友達との共通点・相違点、自分自身のよさに気付けるよう、子供同士がよりつながるよう、学習や活動では適切にグループ活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬ならではの遊びの経験が発揮できるように、自由に使える材料や道具を種類ごとに分類し、使いやすい場所に準備する。 これまでの学習や生活の足跡の掲示物を意識して、自ら自身の成長を振り返ることができるよう、ICTを活用するなど、掲示の仕方を工夫する。 									
指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> めざす子供の姿と共にスタカリ期の学校生活や授業について大切にしていることを、通信や保護者説明会等で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に物事に関わろうとする姿や経験していることを家庭や地域に発信し、児童の成長を温かく見守っていただけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の「家庭生活に関わる活動」の目的や内容について、児童自ら、自分の役割を家庭の中で積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりできるように、家庭に協力を呼びかけるとともに、ICTなどを活用して活動の様子を記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活科「自分自身の生活や成長を振り返る活動」の目的や内容について、児童が自分の成長を実感できるように、家庭でも成長と一緒に喜びることができるような投げかけをする。 									
行事等	<ul style="list-style-type: none"> 入学式 参観日 	<ul style="list-style-type: none"> 引継ぎ連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会の打ち合わせ ※園内研修・校内研修への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会 交流会の振り返り 引継ぎ会 									